



六十余の名山可圖を

阿波 鳴門の  
風波

16th JSMD  
プログラム

一般演題 (ポスター)

法  
華  
寺



## 1. 薬物療法 I : 双極性障害

7月5日(金) 17:40 ~ 18:40

あわぎんホール ポスター会場 (3F 大展示室)

座長: 寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

P-1

(研究発表)

### ルラシドンの抑うつエピソードを伴う双極 I 型障害患者を対象とした 検証的試験 (ELEVATE 試験) の成績 (有効性)

加藤 忠史<sup>1)</sup>、石郷岡 純<sup>2)</sup>、渡部 恵<sup>3)</sup>、宮島 真理<sup>4)</sup>、増田 孝裕<sup>5)</sup>、樋口 輝彦<sup>6,7)</sup>

- 1) 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム、2) CNS 薬理研究所、
- 3) 大日本住友製薬株式会社データサイエンス部、4) 大日本住友製薬株式会社臨床企画部、
- 5) 大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、6) 日本うつ病センター、
- 7) 国立精神・神経医療研究センター

P-2

(研究発表)

### ルラシドンの抑うつエピソードを伴う双極 I 型障害患者を対象とした 検証的試験 (ELEVATE 試験) の成績 (安全性/忍容性)

樋口 輝彦<sup>1,2)</sup>、石郷岡 純<sup>3)</sup>、渡部 恵<sup>4)</sup>、宮島 真理<sup>5)</sup>、増田 孝裕<sup>6)</sup>、加藤 忠史<sup>7)</sup>

- 1) 日本うつ病センター、2) 国立精神・神経医療研究センター、3) CNS 薬理研究所、
- 4) 大日本住友製薬株式会社データサイエンス部、5) 大日本住友製薬株式会社臨床企画部、
- 6) 大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、
- 7) 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム

P-3

(研究発表)

### ルラシドンの抑うつエピソードを伴う双極 I 型障害患者を対象とした 長期投与試験 (ELEVATE 継続投与試験) の成績

石郷岡 純<sup>1)</sup>、樋口 輝彦<sup>2,3)</sup>、宮島 真理<sup>4)</sup>、渡部 恵<sup>5)</sup>、増田 孝裕<sup>6)</sup>、加藤 忠史<sup>7)</sup>

- 1) CNS 薬理研究所、2) 日本うつ病センター、3) 国立精神・神経医療研究センター、
- 4) 大日本住友製薬株式会社臨床企画部、5) 大日本住友製薬株式会社データサイエンス部、
- 6) 大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、
- 7) 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム

P-4

(研究発表)

### 双極性障害うつ症状に対する抗精神病薬単剤療法と併用療法の有効性: 系統的レビューとメタ解析

野坂 忠史<sup>1)</sup>、萩 勝彦<sup>1)</sup>、Andrei Pikalov<sup>2)</sup>、Antony Loebel<sup>2)</sup>

- 1) 大日本住友製薬メディカルアフェアーズ部、2) Sunovion Pharmaceuticals, Inc.

P-5

(研究発表)

### 双極性障害うつ症状に対する抗精神病薬単剤療法と併用療法の安全性・ 忍容性: 系統的レビューとメタ解析

野坂 忠史<sup>1)</sup>、萩 勝彦<sup>1)</sup>、Andrei Pikalov<sup>2)</sup>、Antony Loebel<sup>2)</sup>

- 1) 大日本住友製薬メディカルアフェアーズ部、2) Sunovion Pharmaceuticals, Inc.

## 2. 薬物療法Ⅱ：双極性障害とうつ病

7月5日(金) 17:40～18:40

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：金沢 徹文 大阪医科大学神経精神医学教室

P-6

(研究発表)

### 双極性うつ病におけるラモトリギン治療反応性と精神病症状の既往との関連

廣瀬 智之、辻井 農垂、三川 和歌子、細見 史治、森本 拓頌、柳 雅也、白川 治  
近畿大学病院メンタルヘルス科

P-7

(実践発表)

### 薬剤の適正化使用におけるクエチアピン徐放錠の役割 ～ MARTA の特性を活かした実践的処方～

藤田 雅也  
医療法人社団城東桐和会 篠崎駅前こここクリニック

P-8

(研究発表)

### 双極性障害患者におけるベンゾジアゼピン受容体作動薬が多剤化する因子についての解析

坪井 貴嗣、五十嵐 俊、渡邊 衡一郎  
杏林大学医学部精神神経科学教室

P-9

(研究発表)

### うつ病におけるベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠薬の減量化が認知機能に及ぼす影響の予備的研究

越川 陽介、加藤 正樹、三井 浩、青木 宣篤、内藤 みなみ、木下 利彦  
関西医科大学精神神経科学教室

P-10

(研究発表)

### パーソナリティに基づく抗うつ薬の使い分けは可能か？ ～ GUNDAM study より～

内藤 みなみ<sup>1)</sup>、越川 陽介<sup>1)</sup>、坂井 志帆<sup>1)</sup>、板東 宏樹<sup>2)</sup>、嶽北 佳輝<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>1)</sup>、  
砂田 尚孝<sup>1)</sup>、緒方 治彦<sup>1,2)</sup>、木下 利彦<sup>1)</sup>、加藤 正樹<sup>1)</sup>  
1) 関西医科大学総合医療センター精神神経科学講座、2) セフィロト病院

## 3. 薬物療法Ⅲ：うつ病

7月6日(土) 11:20～11:55

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

P-11

(研究発表)

### Vortioxetine の大うつ病性障害患者を対象とした国内第3相無作為化プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験

井上 猛<sup>1)</sup>、笹井 清史<sup>2)</sup>、北川 忠行<sup>2)</sup>、西村 章<sup>2)</sup>、稲田 勲<sup>2)</sup>  
1) 東京医科大学 精神医学分野、2) 武田薬品工業株式会社

P-12

(研究発表)

### 幼少期の虐待の既往とうつ病の治療反応性の相関 ～ GUNDAM study より～

緒方 治彦<sup>1)</sup>、船槻 紀也<sup>1)</sup>、越川 陽介<sup>1)</sup>、嶽北 佳輝<sup>1)</sup>、砂田 尚孝<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>1)</sup>、  
板東 宏樹<sup>2)</sup>、畑下 嘉之<sup>2)</sup>、木下 利彦<sup>1)</sup>、加藤 正樹<sup>1)</sup>  
1) 関西医科大学総合医療センター 精神神経科教室、2) 社会福祉法人青祥会セフィロト病院

- P-13** (研究発表) **SSRI 抵抗性うつ病に対するミルナシプランの効果予測因子として血漿ホモバニリン酸の果たす可能性の検討**  
橋本 佐<sup>1,2)</sup>、櫻井 大路<sup>2)</sup>、伊豫 雅臣<sup>2)</sup>  
1) 袖ヶ浦さつき台病院、2) 千葉大学大学院医学研究院精神医学教室
- P-14** (実践発表) **エシタロプラムおよびデュロキセチン各 100 症例の検討—特にノルアドレナリンの関与の視点から—**  
古沢 信之  
こころのクリニック山形

#### 4. 薬物療法以外の治療法 I : ECT と rTMS

7月5日(金) 17:40 ~ 18:40

あわぎんホール ポスター会場 (3F 大展示室)

座長：竹林 実 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

- P-15** (研究発表) **入院患者における mECT の治療実績と有効性に関する調査**  
宮保 嘉津真、染村 宏法、石川 文徳、常岡 俊昭、真田 建史、岩波 明  
昭和大学医学部精神医学講座
- P-16** (研究発表) **気分障害を対象とした修正型電気けいれん療法前後における MRI 画像変化に関する検討**  
野口 佳那、成田 耕介、末積 麻衣  
湘南東部総合病院
- P-17** (研究発表) **機械学習による MRI を用いた電気けいれん療法に対する個別の治療反応予測**  
高宮 彰紘<sup>1,2)</sup>、澤田 恭助<sup>1)</sup>、岸本 泰士郎<sup>1)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>  
1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 精神医学・行動科学研究所
- P-18** (実践発表) **緊張病症状を呈した Parkinson 病者に修正型電気痙攣療法が奏効した一例**  
仲地 究、尾崎 優樹、清水 秀明、伊賀 淳一、上野 修一  
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座
- P-19** (実践発表) **反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 療法中、カフェイン摂取による運動閾値低下の可能性が疑われた一例**  
山崎 龍一、鬼頭 伸輔、市川 光、松田 勇紀、繁田 雅弘  
東京慈恵会医科大学

## 5. 薬物療法以外の治療法Ⅱ：心理社会的介入

7月6日(土) 11:20～11:55

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：上村 直人 高知大学医学部精神科

P-20

(実践発表)

### ストレスケア病棟における医師の役割とカンファレンス

小柳 綾<sup>1)</sup>、島松 まゆみ<sup>1)</sup>、高田 和秀<sup>1)</sup>、久保 敏弘<sup>1)</sup>、松下 満彦<sup>1)</sup>、徳永 雄一郎<sup>1)</sup>、  
後藤 玲央<sup>2)</sup>

1) 不知火病院、2) 福岡大学医学部精神医学教室

P-21

(実践発表)

### 作業療法導入時における効果的な介入の検討 ～受動的に参加可能なプログラムを通して～

赤松 まど香

あさかホスピタル

P-22

(研究発表)

### うつ病再発予防教室参加者の世代別特徴について

古川 はるこ<sup>1)</sup>、小川 佳那<sup>1)</sup>、中西 玲佳<sup>1)</sup>、亀山 洋<sup>1)</sup>、常泉 百合<sup>2)</sup>、岡部 究<sup>1)</sup>、  
岩下 正幸<sup>1)</sup>、川上 正憲<sup>3)</sup>、眞鍋 貴子<sup>3)</sup>、伊藤 達彦<sup>2)</sup>、忽滑谷 和孝<sup>1)</sup>、繁田 雅弘<sup>2)</sup>

1) 東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科、2) 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科、  
3) 香川大学医学部附属病院精神科神経科

P-23

(研究発表)

### 双極性障害の集団心理教育プログラムにおける12か月後のQOLに与える影響

中津 啓吾、浅岡 聡、岡崎 智行

草津病院

## 6. 病態・症状・診断・評価Ⅰ：画像とデータ解析

7月5日(金) 17:40～18:40

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：橋本 直樹 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

P-24

(研究発表)

### fMRI情報に基づいた背外側前頭前野のNIRSニューロフィードバック法の開発

横山 仁史<sup>1)</sup>、東田 太一<sup>2)</sup>、岡田 剛<sup>1)</sup>、市川 奈穂<sup>1)</sup>、高村 真広<sup>1)</sup>、柴崎 千代<sup>1)</sup>、  
吉野 敦雄<sup>1)</sup>、山脇 成人<sup>1)</sup>、岡本 泰昌<sup>1)</sup>

1) 広島大学大学院医歯薬保健学研究科、2) 広島大学医学部

P-25

(研究発表)

### うつ病の前頭極と線条体におけるドパミントランスポーターの変化： 死後脳研究

関口 裕孝<sup>1)</sup>、Geoff Pavey<sup>2)</sup>、Brian Dean<sup>2)</sup>

1) 桶狭間病院藤田こころケアセンター、

2) The Florey Institute of Neuroscience and Mental Health, Australia

P-26

(研究発表)

### うつ病の安静時脳機能結合の抗うつ薬治療による変化

市川 奈穂、岡田 剛、高村 真広、吉野 敦雄、柴崎 千代、増田 慶一、横山 仁史、  
加藤 美幸、山脇 成人、岡本 泰昌  
広島大学大学院医歯薬保健学研究科精神神経医科学

P-27

(研究発表)

### うつ病における発話データの臨床的有用性の検討： システマティックレビューとメタ解析

澤田 恭助<sup>1,2)</sup>、高宮 彰紘<sup>1)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>、岸本 泰士郎<sup>1)</sup>  
1) 慶應義塾大学病院 精神神経科学教室、2) 社会医療法人 あさかホスピタル

P-28

(研究発表)

### 深層学習を用いた表情データによるうつ症状の重症度判定の試み

鶴嶋 史哉<sup>1)</sup>、菊地 俊暁<sup>2)</sup>、吉村 道孝<sup>2)</sup>、Liang Kuo-Ching<sup>2,3)</sup>、北沢 桃子<sup>2)</sup>、  
三村 将<sup>2)</sup>、岸本 泰士郎<sup>2)</sup>  
1) 慶應義塾大学医学部、2) 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室、3) 慶應義塾大学理工学部

P-29

(研究発表)

### 個人に最適化されたうつ病再発兆候の早期発見技術の開発 —心理・社会・生物学的データに対する機械学習法の適用—

山本 哲也<sup>1)</sup>、吉本 潤一郎<sup>2)</sup>  
1) 徳島大学大学院社会産業理工学研究部、2) 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科

## 7. 病態・症状・診断・評価Ⅱ：分子医学

7月5日(金) 17:40～18:40

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：森信 繁 吉備国際大学医療保健福祉学部作業療法学科

P-30

(研究発表)

### うつ病 GWAS の歴史的変遷

西澤 由貴、丸山 惣一郎、金沢 徹文  
大阪医科大学神経精神医学教室

P-31

(研究発表)

### オリゴデンドロサイト関連遺伝子多型 (rs1059004) と自己スキーマ及び抑うつ症状との相関研究

小松 浩<sup>1,2)</sup>、竹内 光<sup>3)</sup>、菊地 淑恵<sup>10)</sup>、小野 千晶<sup>10)</sup>、齋 志前<sup>2,10)</sup>、飯塚 邦夫<sup>7)</sup>、  
角藤 芳久<sup>1)</sup>、船越 俊一<sup>1,4)</sup>、大野 高志<sup>1)</sup>、川島 隆太<sup>3,5,9)</sup>、瀧 靖之<sup>5,6,8)</sup>、  
富田 博秋<sup>2,6,7,10)</sup>

- 1) 宮城県立精神医療センター、2) 東北大学大学院医学系研究科 災害精神医学分野、
- 3) 東北大学 加齢医学研究所 認知機能発達寄附研究部門、
- 4) 東北大学大学院医学系研究科 地域精神医療分野、
- 5) 東北大学 スマート・エイジング学術重点研究センター、
- 6) 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構、
- 7) 東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野、
- 8) 東北大学 加齢医学研究所 機能画像医学研究分野、
- 9) 東北大学 加齢医学研究所 応用脳科学研究分野、
- 10) 東北大学 災害科学国際研究所 災害精神医学分野

P-32

(研究発表)

## mtDNA copy number raises the potential of left frontopolar hemodynamic responses for distinguishing BD from MDD

菱本 明豊<sup>1)</sup>、辻井 農亜<sup>2)</sup>、大塚 郁夫<sup>1)</sup>、岡崎 賢志<sup>1)</sup>、柳 雅也<sup>2)</sup>、沼田 周助<sup>3)</sup>、  
山木 愛久<sup>1)</sup>、川久保 善宏<sup>2)</sup>、白川 治<sup>2)</sup>

1) 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、2) 近畿大学医学部精神神経科学教室、  
3) 徳島大学病院精神科神経科

P-33

(研究発表)

## うつ病における Dehydroepiandrosterone (DHEA) が Brain derived neurotrophic factor (BDNF) に与える影響について：第2報

宿澤 弘子、馬場 元、前嶋 仁、島野 嵩久、井上 恵、石島 聡子、石黒 芽意、  
市川 朝也、安田 誠太、鈴木 利人、新井 平伊

順天堂大学精神医学講座

P-34

(研究発表)

## うつ病患者末梢白血球におけるバイオマーカーとしての長鎖非コード RNA 発現解析

關 友恵、山形 弘隆、内田 周作、小林 正明、原田 健一郎、松尾 幸治、渡邊 義文、  
中川 伸

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

P-35

(研究発表)

## うつ病患者における養育環境の DNA メチル化修飾への影響の検討

梅原 英裕<sup>1)</sup>、戸田 裕之<sup>2)</sup>、斎藤 拓<sup>2)</sup>、中瀧 理仁<sup>1)</sup>、沼田 周助<sup>1)</sup>、大森 哲郎<sup>1)</sup>

1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、2) 防衛医科大学校精神科学講座

## 8. 病態・症状・診断・評価Ⅲ：バイオマーカー

7月5日(金) 17:40～18:40

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：山形 弘隆 山口大学医学部附属病院精神科神経科

P-36

(研究発表)

## 気分障害のバイオマーカーとしての血清中グリア細胞株由来神経栄養因子 (GDNF) に関する多施設共同研究

井手本 啓太<sup>1)</sup>、新津 富央<sup>1)</sup>、畑 達記<sup>1)</sup>、小田 靖典<sup>1)</sup>、木村 敦史<sup>1)</sup>、橋本 佐<sup>1)</sup>、  
亀野 陽亮<sup>2)</sup>、蓬萊 政<sup>3)</sup>、山森 英長<sup>4,5,6)</sup>、戸田 重誠<sup>7,8)</sup>、菱本 明豊<sup>3)</sup>、橋本 亮太<sup>4,5)</sup>、  
中込 和幸<sup>9)</sup>、橋本 謙二<sup>10)</sup>、伊豫 雅臣<sup>1,10)</sup>

1) 千葉大学大学院医学研究院精神医学、2) 浜松医科大学医学部精神医学講座、  
3) 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、  
4) 大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学、  
5) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、  
6) 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院、7) 金沢大学医薬保健学域医学類精神行動科学、  
8) 昭和大学医学部精神医学講座、9) 国立精神・神経医療研究センター病院、  
10) 千葉大学社会精神保健教育研究センター病態解析部門

P-37

(研究発表)

## interleukin-6 in patients with untreated major depressive disorder: comparison with catecholamine metabolites

吉村 玲児<sup>1)</sup>、岸 太郎<sup>2)</sup>、香月 あすか<sup>1)</sup>、井形 亮平<sup>1)</sup>、小西 勇輝<sup>1)</sup>、岩田 伸生<sup>2)</sup>

1) 産業医科大学精神医学、2) 藤田医科大学医学部精神医学

P-38

(研究発表)

### うつ病における血清アミロイドβタンパクの推移：第2報

夏目 俊太郎<sup>1,2)</sup>、馬場 元<sup>1,2)</sup>、前嶋 仁<sup>1,2)</sup>、島野 高久<sup>1,2)</sup>、市川 朝也<sup>1)</sup>、安田 誠太<sup>1)</sup>、宿澤 弘子<sup>1,2)</sup>、済田 貴生<sup>1)</sup>、鈴木 利人<sup>1,2)</sup>、新井 平伊<sup>1,2)</sup>

- 1) 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学、
- 2) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院, Juntendo University Mood Disorder Project (JUMP)

P-39

(研究発表)

### うつ病の寛解後のアミロイドβ濃度と認知症発症のリスクに関するコホート調査

安田 誠太、馬場 元、前嶋 仁、島野 高久、井上 恵、市川 朝也、宿澤 弘子、夏目 俊太郎、済田 貴生、鈴木 利人、新井 平伊

順天堂大学医学部精神医学教室, Juntendo University Mood Disorder Project (JUMP)

P-40

(研究発表)

### うつ病寛解後の血清BDNF濃度と認知症発症のリスクに関する縦断的調査

済田 貴生<sup>1,2)</sup>、馬場 元<sup>1,2)</sup>、前嶋 仁<sup>1,2)</sup>、島野 高久<sup>1,2)</sup>、市川 朝也<sup>1,2)</sup>、安田 誠太<sup>1,2)</sup>、宿澤 弘子<sup>1,2)</sup>、夏目 俊太郎<sup>1,2)</sup>、鈴木 利人<sup>1,2)</sup>、新井 平伊<sup>1)</sup>

- 1) 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学、
- 2) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 Juntendo University Mood Disorder Project (JUMP)

P-41

(研究発表)

### うつ病患者の血清TDP-43濃度と寛解時の遂行機能および記憶機能との関連性

市川 朝也<sup>1)</sup>、馬場 元<sup>1,2)</sup>、前嶋 仁<sup>1)</sup>、島野 高久<sup>1)</sup>、井上 恵<sup>1)</sup>、安田 誠太<sup>1,2)</sup>、宿澤 弘子<sup>1,2)</sup>、済田 貴生<sup>1,2)</sup>、夏目 俊太郎<sup>1,2)</sup>、鈴木 利人<sup>1,2)</sup>、新井 平伊<sup>1,2)</sup>

- 1) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 Juntendo University Mood Disorder Project、
- 2) 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

## 9. 病態・症状・診断・評価Ⅳ：症状評価

7月5日(金) 17:40～18:40

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：高江洲 義和 杏林大学医学部精神神経科学教室

P-42

(研究発表)

### ドライアイ患者におけるうつ症状および不安症状に関する観察研究

北沢 桃子<sup>1,2)</sup>、山田 千晶<sup>1)</sup>、吉村 道孝<sup>1,2,3)</sup>、川島 素子<sup>2)</sup>、井上 佐智子<sup>2)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>、坪田 一男<sup>2)</sup>、根岸 一乃<sup>2)</sup>、岸本 泰士郎<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学医学部眼科学教室、
- 3) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

P-43

(研究発表)

### うつ病・不安症患者の抑うつ重症度と消化器症状の関連—腸内細菌叢の横断的検討—

黒川 駿哉<sup>1)</sup>、富沢 佳弘<sup>2)</sup>、石井 大喜<sup>2)</sup>、宮保 嘉津真<sup>3)</sup>、真田 健史<sup>3)</sup>、福田 真嗣<sup>4)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>、岸本 泰士郎<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、2) 慶應義塾大学薬学部薬物治療学講座、
- 3) 昭和大学医学部精神医学講座、4) 慶應義塾大学先端生命科学研究所

P-44

(研究発表)

### 認知症精査入院患者における患者情報と抑うつとの関連

津山 雄亮<sup>1)</sup>、林 綾子<sup>1,2)</sup>、岩本 倫<sup>1)</sup>、牧野 愛恵<sup>1)</sup>、松山 清治<sup>1)</sup>、村山 友則<sup>1)</sup>、白石 将毅<sup>1)</sup>、河西 千秋<sup>1)</sup>

- 1) 札幌医科大学医学部神経精神医学講座、  
2) 札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所再生治療推進講座

P-45

(研究発表)

### 寛解期うつ病患者における残遺する抑うつの自覚症状についての検討

三川 和歌子、辻井 農垂、安達 融、廣瀬 智之、白川 治  
近畿大学医学部精神神経科

P-46

(研究発表)

### 日本語版 CORE 尺度の作成と信頼性および妥当性の検討

玉田 有<sup>1,2)</sup>、井上 猛<sup>2)</sup>、関根 篤<sup>3)</sup>、戸田 裕之<sup>4)</sup>、武島 稔<sup>2,5)</sup>、佐々木 雅明<sup>6)</sup>、大前 晋<sup>6)</sup>

- 1) 虎の門病院分院精神科、2) 東京医科大学精神医学分野、3) ケイメンタルクリニック、  
4) 防衛医科大学校精神科学講座、5) 柴田病院、6) 虎の門病院精神科

P-47

(研究発表)

### 「現代抑うつ症候群」(いわゆる「現代型うつ」「新型うつ」)の病前性格：22項目の自記式評価尺度(TACS-22)の開発

香月 亮子<sup>1)</sup>、久保 浩明<sup>1)</sup>、桑野 信貴<sup>1)</sup>、瀬戸山 大樹<sup>2)</sup>、康 東天<sup>2)</sup>、渡部 幹<sup>3)</sup>、坂本 真士<sup>4)</sup>、Teo Alan R.<sup>5,6,7)</sup>、神庭 重信<sup>1)</sup>、加藤 隆弘<sup>1)</sup>

- 1) 九州大学大学院医学研究院精神病態医学、2) 九州大学大学院医学研究院臨床検査医学、  
3) School of Business, Monash University, Jalan Lagoon Selatan, Bandar Sunway, Selangor Darul Ehsan, Malaysia、  
4) 日本大学文理学部心理学科、  
5) VA Portland Health Care System, HSR&D Center to Improve Veteran Involvement in Care, Portland, USA、  
6) Department of Psychiatry, Oregon Health & Science University, Portland, USA、  
7) School of Public Health, Oregon Health & Science University and Portland State University, Portland, USA

## 10. 病態・症状・診断・評価Ⅴ：不安と抑うつ

7月6日(土) 11:20～11:55

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：岩田 正明 鳥取大学医学部脳神経医学講座精神行動医学分野

P-48

(研究発表)

### 初診患者における不安・抑うつ発作の有病率の検討

松元 智美<sup>1)</sup>、正木 美奈<sup>2)</sup>、小松 智賀<sup>1)</sup>、野口 恭子<sup>1)</sup>、川崎 奈緒子<sup>1)</sup>、岸野 有里<sup>1)</sup>、貝谷 久宣<sup>1,3)</sup>

- 1) 心療内科・神経科赤坂クリニック、2) なごやメンタルクリニック、3) パニック症研究センター

P-49

(研究発表)

### 不安・抑うつ発作における侵入性思考

正木 美奈<sup>1)</sup>、貝谷 久宣<sup>2)</sup>、岸本 智数<sup>1)</sup>

- 1) なごやメンタルクリニック、2) パニック症研究センター

P-50

(研究発表)

### 主観的健康感に及ぼす小児期の被養育体験、特性不安、ライフイベントの相互作用の検討

中島 淳<sup>1,2)</sup>、片山 成仁<sup>1,2)</sup>、内田 由寛<sup>2)</sup>、井上 猛<sup>2)</sup>

- 1) 成仁病院、2) 東京医科大学精神医学分野

P-51

(研究発表)

## 小児期にいじめられた体験が成人期のうつ症状に与える影響： 重回帰分析による解析

石井 義隆、榎屋 二郎、成瀬 麻夕、井上 猛  
東京医科大学病院メンタルヘルス科

P-52

(研究発表)

## 小児期虐待、特性不安が反芻に及ぼす影響：重回帰分析による解析

出口 彩香、成瀬 麻夕、市来 真彦、井上 猛  
東京医科大学病院メンタルヘルス科

## 11. 病態・症状・診断・評価Ⅵ：睡眠、生理、認知

7月6日(土) 11:20～11:55

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系

P-53

(研究発表)

## 大うつ病性障害における眼球運動

高橋 潤一<sup>1)</sup>、三浦 健一郎<sup>2)</sup>、森田 健太郎<sup>3)</sup>、藤本 美智子<sup>4)</sup>、山森 英長<sup>4)</sup>、安田 由華<sup>4)</sup>、  
工藤 紀子<sup>4)</sup>、穴戸 恵美子<sup>5)</sup>、岡崎 康輔<sup>6)</sup>、椎野 智子<sup>5,7)</sup>、笠井 清登<sup>3)</sup>、平野 羊嗣<sup>1)</sup>、  
橋本 亮太<sup>4,7)</sup>、鬼塚 俊明<sup>1)</sup>

1) 九州大学大学院医学研究院精神病態医学、2) 京都大学大学院医学研究科認知行動脳科学、  
3) 東京大学大学院医学系研究科精神医学、4) 大阪大学大学院医学研究科精神医学、  
5) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学、6) 奈良県立医科大学精神医学講座、  
7) 国立精神・神経センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

P-54

(研究発表)

## ウェアラブル活動量計を用いた睡眠リズムとうつ症状との関連

吉村 道孝<sup>1)</sup>、北沢 桃子<sup>1)</sup>、Brian Sumali<sup>1,2)</sup>、田澤 雄基<sup>1)</sup>、貝瀬 有里子<sup>1)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>、  
岸本 泰士郎<sup>1)</sup>

1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学理工学研究科総合デザイン工学専攻

P-55

(研究発表)

## 夜型傾向は直接ではなく睡眠の問題を介して学生のうつ症状を引き起こす

志村 哲祥<sup>1,2)</sup>、井上 猛<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学精神医学分野、2) 医療法人寿鶴会菅野病院精神科・睡眠外来

**P-56**

(研究発表)

**精神疾患における認知機能障害と社会活動時間との関連**

宇野 洋太<sup>1)</sup>、工藤 紀子<sup>1)</sup>、山森 英長<sup>1,2,3)</sup>、藤野 陽生<sup>4)</sup>、住吉 チカ<sup>5)</sup>、安田 由華<sup>6)</sup>、藤本 美智子<sup>7)</sup>、勝元 榮一<sup>8)</sup>、佐田 あゆ美<sup>9)</sup>、畦地 裕統<sup>1)</sup>、椎野 智子<sup>1)</sup>、嶋田 貴充<sup>10)</sup>、片岡 譲<sup>10)</sup>、高橋 潤一<sup>11)</sup>、森田 健太郎<sup>12)</sup>、香月 あすか<sup>13)</sup>、山本 真江里<sup>14)</sup>、岡久 祐子<sup>15)</sup>、肥田 道彦<sup>16)</sup>、平野 羊嗣<sup>11)</sup>、牧之段 学<sup>17)</sup>、中瀧 理仁<sup>18)</sup>、橋本 直樹<sup>19)</sup>、大井 一高<sup>10,20)</sup>、高橋 努<sup>21)</sup>、根本 清貴<sup>22)</sup>、岸本 年史<sup>17)</sup>、鈴木 道雄<sup>21)</sup>、住吉 太幹<sup>23)</sup>、橋本 亮太<sup>1)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部、
- 2) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院、
- 3) 大阪大学大学院 医学系研究科 情報統合医学講座 精神医学教室、4) 大分大学 教育学部、
- 5) 福島大学人間発達文化学類、6) 医療法人フォスター 生きる・育む・輝くメンタルクリニック、
- 7) 大阪大学大学院医学系研究科 情報統合医学講座 精神医学教室、8) かつもとメンタルクリニック、
- 9) くぎぬき医院、10) 金沢医科大学 精神神経科学、11) 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学
- 12) 東京大学大学院医学系研究科 精神医学分野、13) 産業医科大学精神医学教室、
- 14) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、15) 岡山大学病院精神科神経科、
- 16) 日本医科大学大学院医学系研究科 精神・行動医学、17) 奈良県立医科大学精神医学講座、
- 18) 徳島大学病院 精神科神経科、19) 北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室、
- 20) 金沢医科大学 総合医学研究所、21) 富山大学大学院医学薬学研究部 神経精神医学講座、
- 22) 筑波大学附属病院精神神経科、
- 23) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部

**12. 病態・症状・診断・評価Ⅶ：経過と転帰**

7月6日(土) 11:20～11:55

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：鈴木 利人 順天堂大学医学部附属越谷病院メンタルクリニック

**P-57**

(研究発表)

**うつ病の治療経過と症状の変化から、早期介入を考える**

徳永 雄一郎<sup>1)</sup>、奥村 幸祐<sup>1)</sup>、島松 まゆみ<sup>1)</sup>、高田 和秀<sup>1)</sup>、小柳 綾<sup>1)</sup>、松下 満彦<sup>1)</sup>、後藤 玲央<sup>1,2)</sup>、川崎 弘詔<sup>2)</sup>

- 1) 不知火病院、2) 福岡大学医学部精神医学教室

**P-58**

(研究発表)

**臨床経過中にうつ病から双極性障害へ診断変更になった患者の転帰調査**

本多 笑奈<sup>1)</sup>、福本 健太郎<sup>1)</sup>、三條 克巳<sup>1)</sup>、岩城 忍<sup>2)</sup>、小泉 文人<sup>1)</sup>、小泉 範高<sup>1)</sup>、遠藤 仁<sup>1,3)</sup>、山家 健仁<sup>1)</sup>、大塚 耕太郎<sup>1,3)</sup>

- 1) 岩手医科大学医学部神経精神科学講座、2) 盛岡市立病院神経精神科、
- 3) 岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座

**P-59**

(研究発表)

**不安性の苦痛(DSM-5)の有無による大うつ病性障害の6ヵ月転帰予測**

大坪 天平<sup>1)</sup>、外間 朝諒<sup>1)</sup>、村尾 朋彦<sup>1)</sup>、佐野 奈々<sup>2)</sup>、高橋 杏子<sup>2)</sup>、佐々木 和音<sup>3)</sup>、渡部 芳徳<sup>4)</sup>、菊地 俊暁<sup>5)</sup>、田中 克俊<sup>6)</sup>

- 1) 東京女子医科大学東医療センター精神科、2) JCHO東京新宿メディカルセンター精神科、
- 3) 江田記念病院、4) 市ヶ谷ひもろぎクリニック、5) 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、
- 6) 北里大学大学院産業精神保健学教室

P-60

(研究発表)

**Preliminary observational outcomes from OpTiMA1 study - optimizing treatments in mood and anxiety disorders.**

アリスター 真弥<sup>1)</sup>、フィゲロア エドアルド<sup>1)</sup>、キセイン アンドリュー<sup>1)</sup>、  
トランター リチャード<sup>2,3)</sup>

- 1) American Clinic Tokyo、2) ニュージーランド、クライストチャーチ、オタゴ大学心理医学科、  
3) ミッドノースコースト地域の保健地区メンタルヘルスサービス、ニューサウスウェールズ、オーストラリア

**13. ライフサイクルとうつ病**

7月6日(土) 11:20～11:55

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：市来 真彦 東京医科大学精神医学分野

P-61

(研究発表)

**日本人女性の周産期うつ病の有病割合：メタアナリシス**

徳満 敬大<sup>1)</sup>、菅原 典夫<sup>2)</sup>、丸尾 和司<sup>3)</sup>、鈴木 利人<sup>4)</sup>、古郡 規雄<sup>5)</sup>

- 1) 十和田市立中央病院メンタルヘルス科、  
2) 国立精神神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター、  
3) 筑波大学医学医療系臨床試験臨床疫学研究室、  
4) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、  
5) 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

P-62

(研究発表)

**日本人男性の周産期うつ病の有病割合：メタアナリシス**

徳満 敬大<sup>1)</sup>、菅原 典夫<sup>2)</sup>、丸尾 和司<sup>3)</sup>、鈴木 利人<sup>4)</sup>、古郡 規雄<sup>5)</sup>

- 1) 十和田市立中央病院メンタルヘルス科、  
2) 国立精神神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター、  
3) 筑波大学医学医療系臨床試験臨床疫学研究室、  
4) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、  
5) 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

P-63

(研究発表)

**若年女性における月経前症候群と気質・性格との関連**

三浦 淳、秋元 麻菜、赤繁 初音、山 佳織、町田 麻依子  
北海道科学大学薬学部

P-64

(実践発表)

**徳島県における産後うつ対策の実践**

中瀧 理仁<sup>1)</sup>、後藤 さおり<sup>2)</sup>、上田 美香<sup>2)</sup>、加地 剛<sup>2)</sup>、苛原 稔<sup>2)</sup>、大森 哲郎<sup>1)</sup>

- 1) 徳島大学病院精神科神経科、2) 徳島大学病院産婦人科

## 14. 自殺予防

7月5日(金) 17:40～18:40

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：山田 光彦 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部

P-65

(研究発表)

### 川崎市自殺未遂者支援地域連携モデル構築事業の紹介

伊藤 滋朗<sup>1)</sup>、岸 泰宏<sup>1)</sup>、上原 嘉子<sup>1)</sup>、張 賢徳<sup>2)</sup>、高井 美智子<sup>3)</sup>、倉本 哲義<sup>4)</sup>、  
島田 和代<sup>5)</sup>、小林 聡美<sup>6)</sup>、野木 珠美<sup>6)</sup>、小泉 朋子<sup>7)</sup>、竹田 博子<sup>7)</sup>、竹島 正<sup>8)</sup>、  
津田 多佳子<sup>8)</sup>、植木 美津枝<sup>8)</sup>、大塚 俊弘<sup>8)</sup>

- 1) 日本医科大学武蔵小杉病院精神科、2) 帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科、
- 3) 埼玉医科大学病院救命救急センター、4) 中原区役所地域みまもり支援センター、
- 5) 高津区役所地域みまもり支援センター、6) 宮前区役所地域みまもり支援センター、
- 7) 川崎市井田障害者センター、8) 川崎市精神保健福祉センター

P-66

(研究発表)

### 自殺企図事例における総合病院救命救急科と単科精神病院の連携について

坂田 幹樹<sup>1)</sup>、本多 義治<sup>1)</sup>、本多 秀治<sup>1)</sup>、伊藤 隆<sup>1)</sup>、山田 圭造<sup>1)</sup>、篠崎 正博<sup>2)</sup>、  
鍛冶 有登<sup>2)</sup>、薬師寺 泰匡<sup>2)</sup>

- 1) 七山病院、2) 岸和田徳洲会病院

P-67

(研究発表)

### 「救急患者精神科継続支援料」要件研修受講者の特徴と自殺予防関連尺度の関連についての検討

山田 光彦、川島 義高、米本 直裕

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部

P-68

(実践発表)

### 非都市部における高齢者のうつ病予防の取組み

今井 正城<sup>1,2)</sup>、小山 明日香<sup>3)</sup>、西 良知<sup>4)</sup>、一木 崇弘<sup>3)</sup>、濱本 世津江<sup>5)</sup>、村上 良慈<sup>6)</sup>、  
藤瀬 昇<sup>7)</sup>

- 1) くまもと心療病院、2) 熊本大学大学院医学部教育部、3) 熊本大学神経精神科、
- 4) 熊本県立こころの医療センター、5) あさぎり町役場 健康推進課、6) 吉田病院、
- 7) 熊本大学保健センター

## 15. カウンセリングと家族への支援

7月6日(土) 11:20～11:55

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：富田 拓郎 中央大学文学部

P-69

(研究発表)

### 対人関係カウンセリングの大学生の抑うつ状態への効果

竹谷 怜子<sup>1)</sup>、辻本江美 江美<sup>2)</sup>、山本 亞実<sup>2)</sup>、上田 ひとみ<sup>2)</sup>、坂根 遥<sup>2)</sup>、澤村 勇希<sup>2)</sup>、  
川上 卓朗<sup>2)</sup>、寺本 航起<sup>2)</sup>、辻井 農壘<sup>3)</sup>、白川 治<sup>3)</sup>、小野 久江<sup>1,2)</sup>

- 1) 関西学院大学文学部総合心理科学科、
- 2) 関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域、
- 3) 近畿大学医学部精神神経科教室

P-70

(研究発表)

**ADHD傾向の有無による対人関係カウンセリングの大学生の抑うつ状態への効果**

澤村 勇希<sup>1)</sup>、川上 卓郎<sup>1)</sup>、寺本 航起<sup>1)</sup>、上田 ひとみ<sup>1)</sup>、坂根 遥<sup>1)</sup>、竹谷 怜子<sup>3)</sup>、  
辻井 農垂<sup>2)</sup>、白川 治<sup>2)</sup>、小野 久江<sup>1,3)</sup>

1) 関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域、  
2) 近畿大学医学部精神神経科学教室、3) 関西学院大学文学部総合心理科学科

P-71

(研究発表)

**ASD傾向の有無による対人関係カウンセリングの大学生の抑うつ状態への効果**

上田 ひとみ<sup>1)</sup>、坂根 遥<sup>1)</sup>、澤村 勇希<sup>1)</sup>、川上 卓郎<sup>1)</sup>、寺本 航起<sup>1)</sup>、竹谷 怜子<sup>3)</sup>、  
辻井 農垂<sup>2)</sup>、白川 治<sup>2)</sup>、小野 久江<sup>1,3)</sup>

1) 関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域、  
2) 近畿大学医学部精神神経科学教室、3) 関西学院大学文学部総合心理科学科心理科学専修

P-72

(研究発表)

**うつ病者家族支援におけるICT活用に関する文献レビュー**

木村 洋子<sup>1)</sup>、田嶋 長子<sup>2)</sup>、鈴木 佑典<sup>1)</sup>

1) 同志社女子大学看護学部、2) 大阪府立大学看護学部

P-73

(研究発表)

**認知症に罹患した要介護者の家族介護者における負担感とその寄与要因に関する検討**

菅原 典夫<sup>1)</sup>、丸尾 和司<sup>2)</sup>、古郡 規雄<sup>3)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター 情報管理・解析部、  
2) 筑波大学医学医療系 臨床試験・臨床疫学研究室、3) 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座

**16. 症例検討**

7月5日(金) 17:40～18:40

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：忽滑谷 和孝 東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科

P-74

(実践発表)

**低用量sulpirideの再評価—再発に奏効した高齢者の2症例**

上田 諭

東京医療学院大学保健医療学部

P-75

(実践発表)

**電気けいれん療法で改善せず、ノルトリプチリンが奏功した反復性うつ病の2症例**

中山 知彦<sup>1)</sup>、江戸 宏彰<sup>1)</sup>、吉田 朋広<sup>1)</sup>、松本 唯<sup>1)</sup>、渡部 真也<sup>2)</sup>、中瀧 理仁<sup>1)</sup>、  
沼田 周助<sup>2)</sup>、大森 哲郎<sup>2)</sup>

1) 徳島大学病院精神科神経科、2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

P-76

(実践発表)

**アタッチメントに焦点を当てた認知行動療法「絆スキル」により回復した治療抵抗性うつ病の一例**

工藤 由佳

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

P-77

(実践発表)

### 成人期注意欠陥・多動性障害に伴ううつ状態に対する鍼治療の1症例

松浦 悠人<sup>1)</sup>、渡部 芳徳<sup>1,2)</sup>、古賀 義久<sup>1,3)</sup>、安野 富美子<sup>1,3)</sup>、坂井 友実<sup>1,3)</sup>

- 1) 東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 鍼灸学分野、  
2) 医療法人社団慈泉会 市ヶ谷ひもろぎクリニック、3) 東京有明医療大 保健医療学部 鍼灸学科

P-78

(実践発表)

### 治療経緯から双極性障害との診断に迷った重症うつ病の一例

三好 幸代、越智 紳一郎、伊藤 亜由美、久門 啓志、曾我 純也、坪内 浩一、安部 賢郎、  
吉田 卓、森 崇明、上野 修一

愛媛大学医学部精神神経学講座

P-79

(実践発表)

### シゾイドうつ病と統合失調症

松下 満彦<sup>1,2)</sup>、徳永 雄一郎<sup>1)</sup>、奥村 幸祐<sup>1)</sup>、高田 和秀<sup>1,2)</sup>、川崎 弘詔<sup>2)</sup>

- 1) 不知火病院、2) 福岡大学医学部精神医学教室

## 17. 産業メンタルヘルス

7月6日(土) 11:20～11:55

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：新開 隆弘 産業医科大学医学部精神医学教室

P-80

(研究発表)

### うつ病等休職者を対象とした「休職中に活用できる社会保障制度」に関する情報提供資料の開発

白川 麻子<sup>1)</sup>、田島 美幸<sup>1)</sup>、山田 晴男<sup>2)</sup>、市村 玲子<sup>2)</sup>、香取 美恵子<sup>2)</sup>、深澤 理香<sup>2)</sup>、  
濱本 絵美<sup>2)</sup>、安部 眞一<sup>2)</sup>、原田 晶子<sup>2)</sup>、亀谷 康弘<sup>2)</sup>、水上 房子<sup>2)</sup>、木村 幸子<sup>2)</sup>、  
谷村 友里恵<sup>2)</sup>、秋山 剛<sup>3)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター、  
2) 東京都社会保険労務士会武蔵野統括支部、3) NTT 東日本関東病院

P-81

(実践発表)

### 多動・不注意を考慮した治療的支援

#### ～治療プログラム導入に先立つ目標共有と構造化された行動課題設定の有用性～

竹本 千彰、中村 嘉宏、川嶋 祥樹、内海 浩彦

有馬病院

P-82

(実践発表)

### ワークプログラム利用中に発達障害と診断し、治療介入と復職後の環境調整を行った2症例

小山 敦史<sup>1,2)</sup>

- 1) 産業医科大学医学部精神医学教室、2) 高岡病院

P-83

(実践発表)

### うつ病リワーク版、運動療法の実践報告

#### ～復職後の継続を目指した7つの工夫と効果について～

近藤 智

目白大学保健医療学部

## 18. 治療ガイドライン

7月5日(金) 17:40～18:40

あわぎんホール ポスター会場(3F 大展示室)

座長：古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

P-84

(研究発表)

日本うつ病学会治療ガイドライン II. 大うつ病性障害  
「高齢者のうつ病 ドラフト」 その1：経緯と総論

馬場 元<sup>1)</sup>、伊賀 淳一<sup>2)</sup>、押淵 英弘<sup>3)</sup>、河野 仁彦<sup>4)</sup>、鬼頭 伸輔<sup>5)</sup>、木村 真人<sup>6)</sup>、  
島野 高久<sup>1)</sup>、武島 稔<sup>7)</sup>、忽滑谷 和孝<sup>5,8)</sup>、藤瀬 昇<sup>8)</sup>、前嶋 仁<sup>1)</sup>、松田 勇紀<sup>5)</sup>、  
水上 勝義<sup>9)</sup>、三村 将<sup>10)</sup>、山崎 龍一<sup>5)</sup>

- 1) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、
- 2) 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、3) 東京女子医科大学神経精神科、
- 4) 都城新生病院、5) 東京慈恵会医科大学精神医学講座、
- 6) 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科、7) 明心会柴田病院、8) 熊本大学保健センター、
- 9) 筑波大学大学院人間総合科学研究科、10) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

P-85

(研究発表)

日本うつ病学会治療ガイドライン II. 大うつ病性障害  
「高齢者のうつ病 ドラフト」 その2：各論(前半)

伊賀 淳一<sup>1)</sup>、押淵 英弘<sup>2)</sup>、河野 仁彦<sup>3)</sup>、鬼頭 伸輔<sup>4)</sup>、木村 真人<sup>5)</sup>、島野 高久<sup>6)</sup>、  
武島 稔<sup>7)</sup>、忽滑谷 和孝<sup>4)</sup>、馬場 元<sup>6)</sup>、藤瀬 昇<sup>8)</sup>、前嶋 仁<sup>6)</sup>、松田 勇紀<sup>4)</sup>、  
水上 勝義<sup>9)</sup>、三村 将<sup>10)</sup>、山崎 龍一<sup>4)</sup>

- 1) 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、2) 東京女子医科大学神経精神科、
- 3) 都城新生病院、4) 東京慈恵会医科大学精神医学講座、
- 5) 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科、
- 6) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、7) 明心会柴田病院、
- 8) 熊本大学保健センター、9) 筑波大学大学院人間総合科学研究科、
- 10) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

P-86

(研究発表)

日本うつ病学会治療ガイドライン II. 大うつ病性障害  
「高齢者のうつ病 ドラフト」 その3：各論(後半)

武島 稔<sup>1)</sup>、伊賀 淳一<sup>2)</sup>、押淵 英弘<sup>3)</sup>、河野 仁彦<sup>4)</sup>、鬼頭 伸輔<sup>5)</sup>、木村 真人<sup>6)</sup>、  
島野 高久<sup>7)</sup>、忽滑谷 和孝<sup>5)</sup>、馬場 元<sup>7)</sup>、藤瀬 昇<sup>8)</sup>、前嶋 仁<sup>7)</sup>、松田 勇紀<sup>5)</sup>、  
水上 勝義<sup>9)</sup>、三村 将<sup>10)</sup>、山崎 龍一<sup>5)</sup>

- 1) 明心会柴田病院、2) 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、
- 3) 東京女子医科大学神経精神科、4) 都城新生病院、5) 東京慈恵会医科大学精神医学講座、
- 6) 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科、
- 7) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、8) 熊本大学保健センター、
- 9) 筑波大学大学院人間総合科学研究科、10) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

P-87

(研究発表)

## うつ病治療ガイドライン～精神科作業療法：第1部～

田中 佐千恵<sup>1)</sup>、香山 明美<sup>2)</sup>、小林 正義<sup>1)</sup>、杉山 暢宏<sup>1)</sup>、芳賀 大輔<sup>3)</sup>、早坂 友成<sup>4)</sup>

- 1) 信州大学医学部保健学科作業療法学専攻、
- 2) 東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻、3) ワンモア豊中、
- 4) 杏林大学保健学部作業法学科

P-88

(研究発表)

## うつ病治療ガイドライン～精神科作業療法：第2部～

田中 佐千恵<sup>1)</sup>、香山 明美<sup>2)</sup>、小林 正義<sup>1)</sup>、杉山 暢宏<sup>1)</sup>、芳賀 大輔<sup>3)</sup>、早坂 友成<sup>4)</sup>

- 1) 信州大学医学部保健学科、
- 2) 東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻、3) ワンモア豊中、
- 4) 杏林大学保健学部作業法学科

P-89

(研究発表)

## うつ病に対する治療ガイドライン教育プロジェクト(EGUIDEプロジェクト)の効果-ガイドラインに基づく治療行動達成度からの考察-

山田 恒<sup>1,2)</sup>、本山 美久仁<sup>1)</sup>、椎野 智子<sup>2)</sup>、稲田 健<sup>3)</sup>、渡邊 衡一郎<sup>4)</sup>、橋本 亮太<sup>2)</sup>、松永 寿人<sup>1)</sup>

1) 兵庫医科大学精神科神経科学講座、2) 国立精神・神経医療研究センター、3) 東京女子医科大学、4) 杏林大学